

中学部の服装・持ち物について

1. 通学服

- 制服はありませんが、中学生としての自覚を促すような通学服の着用をお願いします。

通学服の例

冬服 上:ブレザーまたはカーディガンやセーター、学ラン、セーラー服など(黒・紺・グレーが望ましい)

中にワイシャツ、ブラウス、ポロシャツなど(白が望ましい)

下:ズボンまたはスカート(黒、紺、グレーが望ましい)

夏服 上:ワイシャツ、ブラウス、ポロシャツなど(白が望ましい)

下:ズボンまたはスカート(黒、紺、グレーが望ましい)

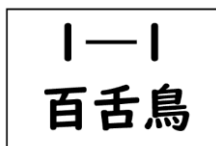
- リボンやネクタイを着用する場合は、自分で着脱できるものにしてください。
- 肌着を着用させてください。(難しい場合は練習していきますのでご相談ください)
- 登校後、校衣着に替えます。子どもの実態に応じた着脱のしやすい服を用意してください。



2. 校衣着

- トレーナーやTシャツ、体操服など、活動しやすく、自分で着脱しやすいものを用意してください。
季節に合わせて半袖、長袖それぞれ2枚以上必要です。
- ズボンはジャージ等の動きやすいもので、ポケットにハンカチを入れてください。
(できれば、サイドか前にポケットのあるズボンがハンカチを使用しやすいです)
- 校衣着の上は白、下は黒や紺を基調としたものにしてください。
- 必要な生徒のみ学校置き予備の服(校衣着、肌着、パンツ、靴下、生理用下着など)を持たせてください。
- 左胸には、横10cm×縦5cm程度の白地の布でゼッケンを作ってください、
黒いマジックインキで学年、組、名字(漢字)を書いて縫いつけてください。

ゼッケンの記入例



校衣着の例



3. 上靴、体育館シューズ、靴袋

- 上靴・体育館シューズと下靴がはっきりと区別できるよう、上靴・体育館シューズは白っぽい色のもの、下靴は色の濃いものを用意してください。

- 自分で履き替えやすいものを用意してください。脱げやすい靴は避けてください。
- 体育館シューズには大きく☉と書き、走りやすい靴にしてください。
- 靴袋は、自分で出し入れしやすい大きさのものにしてください。
- 上靴は週始めに持ってきて、週末に持って帰ります。
- 体育館シューズは学期末または汚れた時に持って帰ります。

体育館シューズの記入例



上靴・体育館シューズの例



下靴の例



靴袋の例



4. かばん

- 自分で持つことのできる、丈夫な素材の手提げ型またはリュック型で、ロがファスナーで閉じられるものを用意してください。
- 連絡帳用のバインダー（A4サイズ）、水筒、校内着、歯みがきセット、エプロンセット、ハンドタオル、靴袋（上靴）、着替えなどが全部入り、十分余裕のあるサイズを選んでください。また、自分で出し入れがしやすい形を選んでください。（月曜・金曜は荷物が多くなります）
- キーホルダーは原則付けてこないでください。（ヘルプマークやネームホルダーは可）

かばんの例



※○肩掛けひもの前に留め金のあるものを選んでください。



冬になると荷物が多くなります。
余裕のあるサイズを選んでください。

5. 歯ブラシとコップ

- 給食の後、歯みがきをします。コップはプラスチックのものを用意してください。衛生を保つために毎日持って帰ります。洗って乾かして、持ってきてください。
- 袋は、自分で出し入れしやすい、余裕のあるサイズを準備してください。
- 歯ブラシのキャップは不要です。
- 歯磨き粉は持ってこないでください。



6. エプロン・三角巾（帽子）・マスク・巾着袋

- 給食の時に使います。当初はエプロンや三角巾（帽子）は小学校で使用していた給食エプロンで結構です。
- 購入される場合は、自分で着脱しやすいものを選んでください。（色、形は自由ですが腰下エプロンは不可です）（学期末懇談時に担任から個々の課題に合うよう、エプロンの形を相談させていただくことがあります。）

- マスクは使い捨てマスク、布マスクどちらでも構いません。サイズが合うものを用意してください。
- 週末または汚れた時に持って帰ります。
- エプロン・三角巾（帽子）・マスクは布製の巾着袋（入れやすいように大きめの袋）に入れてください。
- 三角巾（帽子）は、自分で着脱できるものを準備してください。

エプロンの例



三角巾（帽子）の例



給食袋の例



7. ハンドタオル・ハンカチ

- ハンドタオルとハンカチは別に使います。
- ハンドタオルはひもをつけてフックに掛けられるようにしておいてください。
- ハンカチはよく水を吸うもので、毎日ズボン（校衣着）のポケットに入れてください。
- 毎日持ち帰ります。

ハンドタオルの例



9. 水筒

- 水筒（水またはお茶）は毎日持ってきます。肩からかけられる物を用意してください。
- 軽くて壊れにくいものが望ましいです。
- 使い慣れた物を持たせてください。
- 忘れた場合や足りなかった場合は、学校でペットボトル（水または麦茶）を購入させていただきます。新しいペットボトルを返却してください。事後報告になりますのでご了承ください。

水筒の例



10. 美術服

- 絵の具や油性ペン等で汚れますので、長袖のスモック、または汚れてもよい長袖のＴシャツ（校衣着の上から着られる大きさ）を用意してください。
- 学期末または汚れた時に持って帰ります。

美術服の例



11. 帽子

- 自分で着脱しやすい帽子を用意してください。学校に置いておき、学期末に持って帰ります。

帽子の例



12. 上着

- 薄手の上着（ウインドブレーカー、ジャージ等）を学校に置いておきます。気温に合わせて上着で調整します。

上着の例



13. ハンガー

- 通学服や上着を掛けるハンガーを3つとクリップハンガーを1つ、名前を明記して用意してください。

ハンガーの例



14. その他

- 必ずすべての持ち物に記名をお願いします。（インソールを使用している場合はインソールにも記名）
- その他の必要な持ち物については、入学後、必要な時期にお知らせします。
- ネイルカラーやアクセサリ類は禁止です。華やかな髪飾りも避けてください。
- 通学用の名札はありません。
- 連絡帳用のバインダー及び連絡帳は、学校から配付します。
- 紙パンツやパッドが必要な場合は学校で預かります。（まとめて持って来ていただいて構いません）
- 生理用品や予備のマスクなどは学校に置いておくことができます。
- 筆箱は、必要な生徒のみ後日連絡いたします。
- マフラーや手袋は原則着けてこないでください。（体温調整等で必要な場合はご相談ください）
- 「中学部の服装・持ち物について」に書かれている持ち物以外の物（携帯電話、カイロやクールネック、おもちゃ類）は原則持ってこないでください。必要なものがある場合はご相談ください。
- 自分でできることを増やし、達成感を積み重ねることを大切にしています。入学後、使いやすくなる工夫をご相談させていただくことがあります。
- 放課後等ディサービスの荷物は通学かばんとは別にさせていただくか、通学かばんに入る場合は一つの袋にまとめて学校の荷物と区別がつくようにしてください。